

北海道大学低温科学研究所共同研究集会

氷床-海氷-海洋システムの統合観測から探る東南極氷床融解メカニズムと物質循環変動

日程：2024年7月9日（火）～7月10日（水）

会場：北海道大学低温科学研究所 3F 講堂 + zoom（ハイブリッド形式）

世話人：平野大輔（国立極地研究所）、青木茂（北海道大学 低温科学研究所）

7月9日（火）

【JARE 65 関連】

- 13:00—13:05 溝端浩平（海洋大）趣旨説明
- 13:05—13:25 伊藤優人（極地研）定着氷を構成する海氷の鉛直成長過程」
- 13:25—13:45 塩崎拓平（東大大海研）海氷は窒素固定生物のホットスポットか？
- 13:45—14:05 佐藤拓哉（京大）南極海における微生物・ウイルス群集の調査
- 14:05—14:35 溝端浩平（海洋大）オーストラリアー南極海盆～陸棚斜面における定在海洋渦と暖水輸送経路
- 14:35—15:05 休憩

【JARE 66 関連】

- 15:05—15:35 真壁竜介（極地研）66次しらせ航海の概要
- 15:35—15:55 大橋良彦（極地研）トッテン氷河沖の係留観測
- 15:55—16:15 草原和弥（JAMSTEC）南極沿岸をターゲットとした棚氷付海氷海洋モデルの整備・運用の進捗状況
- 16:15—16:30 山縣広和（東大生産研）66次におけるMONACA運用計画
- 16:30—16:45 青木茂（北大低温研）南極海のニューノーマルと学術変革領域
- 16:45—17:00 総合討論

7月10日（水）

- 09:00—09:20 真壁竜介（極地研）表層連続観測計画：表層連続観測における生態系観測の展望
- 09:20—09:40 野村大樹（北大水産）東南極トッテン氷河の融解が海洋表層の生物地球化学成分に与える影響
- 09:40—10:15 杉江恒二（JAMSTEC）・漢那直也・栗栖美菜子（東大大海研）微量金属観測
- 10:15—10:30 総合討論
- 10:30—10:45 西川はつみ（JAMSTEC）東南極周辺南大洋での新型BGCフロート観測に向けて
- 10:45—11:00 前田歩（東大大海研）東南極域における生物起源粒子による炭素輸送の時系列解析
- 11:00—11:15 Chen Sijun（東大大海研）海洋動物プランクトンの色彩と環境への適応に関する研究
- 11:15—11:30 佐野雅美（極地研）EVSを用いた粒子とプランクトンの鉛直高解像度観測に向けて
- 11:30—11:45 嶋田啓資（極地研）オーストラリアー南極海盆の大陸斜面上の水塊構造について
- 11:45—12:00 平野大輔（極地研）JARE67 トッテン海域での集中観測計画立案に向けて